薬進会　動画タイトル・内容一覧（随時更新）

科目	タイトル（動画 No.）	内容概略
物理	溶解と分解（0001）	反応速度論のはじめ。溶解過程と分解過程
物理	0 次反応①（0002）	0 次反応の速度式、グラフ
物理	１次反応①（0003）	1 次反応の速度式、グラフ
物理	１次反応②（0004）	1 次反応のグラフ、式の使い方
物理	１次反応③（0005）	1 次反応の半減期について
物理	２次反応①（0006）	2 次反応の速度式、グラフ
物理	２次反応②（0007）	2 次反応の半減期、速度定数について
物理	懸濁剤の分解①（0008）	懸濁剤と水溶液の違いについて
物理	懸濁剤の分解②（0009）	懸濁剤の分解における式の使い方
物理	懸濁剤の分解③（0010）	懸濁剤の分解の経時的変化
物理	不可逆反応（0011）	不可逆反応の特徴について
物理	可逆反応①（0012）	可逆反応のグラフ、平衡定数
物理	可逆反応②（0013）	平衡定数、ルシャトリエの法則
物理	併発反応（0014）	併発反応について
物理	連続反応①（0015）	連続反応の速度式、グラフ
物理	連続反応②（0016）	連続反応のグラフの変化
物理	反応まとめ（0017）	0 次、1 次、2 次反応のまとめ
物理	分布容積（0018）	血中濃度と分布容積
物理	静脈内投与（0019）	静注グラフ、線形 1－コンパートメントモデル
物理	バイオアベイラビリティ（0020）	経口投与とバイオアベイラビリティ
物理	消失のパラメーター（0021）	クリアランスと消失速度
有機	共有結合の種類（0022）	共有結合における２種類の結合の性質の比較
有機	混成軌道①（0023）	炭素原子の混成軌道を確認する
有機	混成軌道②（0024）	炭素以外の混成軌道を確認する（N,O）
有機	混成軌道③（0025）	炭素以外の混成軌道を確認する（B、C イオン）
有機	芳香族化合物①（0026）	芳香族化合物を判別する方法を確認する
有機	芳香族化合物②（0027）	複素環の芳香族性を判断する方法を確認する
有機	芳香族化合物③（0028）	イオン性化合物の芳香族性を判断する方法
有機	有機化学反応概論①（0029）	反応形式による分類
有機	有機化学反応概論②（0030）	反応試薬による分類
有機	有機化学反応概論③（0031）	反応性と安定性
有機	有機化学反応概論④（0032）	アシル化合物の反応性と安定性
薬理	構造活性相関①（0033）	カテコールアミンの構造活性相関

薬理	構造活性相関②（0034）	アセチルコリンの構造活性相関
物理	分解速度定数（k）に影響を与える因子①（0035）	
物理	分解速度定数（k）に影響を与える因子②（0036）	
薬理	カテコールアミンと血圧変動①（0037）	Ad と NAd における血圧への影響の違い
薬理	カテコールアミンと血圧変動②（0038）	血圧反転について
薬理	アセチルコリンと血圧変動（0039）	アセチルコリンのムスカリン様作用とニコチン様作用について
有機	酸と塩基の強弱①（0040）	酸性の強さについて①
有機	酸と塩基の強弱②（0041）	酸性の強さについて②
有機	酸と塩基の強弱③（0042）	塩基性の強さについて①
有機	酸と塩基の強弱④（0043）	塩基性の強さについて②
物理	分解速度定数（k）に影響を与える因子③（0044）	
物理	分解速度定数（k）に影響を与える因子④（0045）	
物理	分解速度定数（k）に影響を与える因子⑤（0046）	
衛生	重金属①（0047）	
衛生	重金属②（0048）	
動態	薬物の体内動態概要（0049）	
動態	溶解過程と膜透過過程（0050）	
動態	吸収過程各論（0051）	受動拡散、能動輸送、促進拡散、膜動輸送
動態	D－グルコースの吸収過程（0052）	
動態	ペプチドの吸収過程（0053）	
有機	立体配置①（0054）	cis/trans、E/Z 表示
有機	立体配置②（0055）	R/S 表示
有機	立体配置③（0056）	エナンチオマー、エナンチオマー
有機	立体配置④（0057）	メソ体
有機	立体配置⑤（0058）	アキラルな物質
有機	立体配置⑥（0059）	光学分割

薬理	レニン・アンギオテンシン系（0060）	レニンーアンギオテンシンーアルドステロン系とカリクレインーキニン系まとめ
薬理	エイコサノイド（0061）	エイコサノイドの合成
薬理	エイコサノイド（0062）	シクロオキシゲナーゼのアイソザイム
動態	吸収①（0065）	GER
動態	吸収②（0066）	薬物の Pka と吸収率
動態	吸収③（0067）	分配係数と吸収率（非攪拌層水層膜透過過程と消化管粘膜）
動態	吸収④（0068）	分配係数と吸収率（グラフの見方）
動態	分布①（0069）	分布に関する因子
動態	分布②（0070）	タンパク結合性と薬理作用

☆2014/06/02 掲載動画一覧